

JAしまねびより



2023

3

March
Vol.84



見て魅て知って

島根県農協青年組織協議会 JAしまね女性部

おつけた
しまねのファーマーズ
Shimane farmers
村上 朋恵さん
[隠岐地区本部]

SNSで
旬な情報を
投稿して
います



JALしまね くにびき地区本部版

節電のため、
ウォームビズ
(私服勤務)を
実施しております



伝統の「牛突き」に携わってきた経験をもとに参入

自然の恵みと地形を活かし、和牛の飼育が行われている隠岐地域。村上建設の農場は、隠岐諸島最大の島である島後の山あいにあります。長年建設を生業としていた同社ですが、公共事業が減少する中で新しい事業を模索。2006年、社長（夫の太一さん）の父である芳雄さんが「牛突き」の闘牛を育ててきた経験をもとに和牛の繁殖経営に新規参入しました。

村上家に嫁い

有限会社 村上建設
むらかみ ともえ
村上 朋恵さん(41才)

今月は隠岐地区本部。隠岐の島町で繁殖農家として活躍する、有限会社村上建設の村上朋恵さんにお話を伺いました。

できた朋恵さんは、子育てや家事に勤しみながら家業を事務作業などでサポート。太一さんも牛の人工授精士の資格を取っていました。主な担当は建設業。社長が中心となり、徐々に頭数を増やしていく中で、世代交代を見据え、朋恵さんご夫婦も本格的に飼育・繁殖に携わるようになりました。



地域で得た餌を与え、自然の中でのびのびと育てる

餌は放牧地の草、近隣の農家の稲藁、遊休農地で作った牧草、JAが販売する米を発酵させた飼料など。



ど。繁殖牛については、輸入粗飼料に頼らずほぼ100%島内でまかなっています。牛糞で堆肥を作って畑に還すため、地域内で循環型農業が完結。敷料も地域の木材業者などから買い取ったおがくずやカンナくずを使っています。



餌用の稲藁

牛が牛舎で過ごすのは基本的に冬の間と出産前後で、4月から11月ごろまでは放牧されます。牧場は山の中。斜面の多い地形を日常的に歩くからか、肉付きがよくどっしりとした体型に育ち、足腰も頑健です。「体のフレームが大きく丈夫なためか、早産や難産が少ないんです。自由にのびのび暮らしてストレスフリーだからというのもあるかもしれません」と朋恵さんは話します。



母乳が足りない子牛に
ミルクをあげるスタッフ

受け継いだ飼育技術にICTを加え、 新しいスタイルへ

朋恵さんご夫婦が飼育に関わってからは、ICTの活用を進めています。発情や体調の変化をはかるセンサー付きのベルトを一頭ずつ装着。データはクラウドに転送され、スマホのアプリで管理します。出産の履歴や血液検査の結果なども集積でき、必要な情報をすぐに見ることができるようだとか。「アナログな帳面より簡単に効率的。体温のデータを取ってグラフでチェックすることによって、分娩のタイミングも予測できます」と朋恵さん。システムの導入後、目を離した隙に産み落とされて子牛が命を落とす事故が減ったそうです。「便利になったとはいえ、体調の確認やケア、出産のサポートなどは従来通り。昔ながらの方法にICTをプラスして、私たちのやり方を模索しています」と話します。

若い担い手を育むオープンな農業

農場では、正規雇用のスタッフ、飼育を学びにきた地元の青年、新規就農を目指すターナー者など

様々な人が働いています。中には、隠岐にゲストハウスを作るので、それまでの間働いている人も。朋恵さんは「みんながつながってコミュニケーションケーションでできる場でありたい。オープンな農業をする中で、若い担い手が育ってくれるのが理想です」と話します。

休憩中はコーヒーマシンを片手に会話が弾みます。「この時間のために仕事しているようなもの」と朋恵さんも笑顔に。生命への細やかな気配りが必要な仕事の中で、コミュニケーションがリフレッシュの時間になっているようです。

目指すは「地産地消」

隠岐の畜産業は繁殖牛が中心で、子牛のほとんどが島外に出荷されるため、島民の口に入る肉はほんのわずか。そんな中、朋恵さんは牛肉の島内自給を目指しています。



休憩中も笑顔が絶えません



「ここで生まれた命を自然の中で幸せに育て、ここに住む人が安心していただけるようにする。そんな仕組みを作るのが目標」と話す朋恵さんは現在、引退した繁殖牛を実験的に肥育し始めているのだとか。「走り出したばかりですが、牛を幸せに、そして人も幸せになるよう、農業によって地域づくりに貢献できればと思います」と、夢を語る表情はイキイキと輝いていました。



朋恵さん

牛突き

約800年の歴史がある闘牛「牛突き」。配流された後鳥羽上皇を慰めるために始まったといわれています。現在も年に数回大会が開催され、隠岐の島町の「モーモードーム」では観光牛突きも(不定期)。村上さんの農場では8頭の闘牛を飼育。社長が子牛の中から体格や性格などが適しているオスを厳選して育成し、伝統文化を守り続けています





JAしまね女性部



JAしまね女性部
たかはし み さ こ
高橋美佐子部長

に活動する島根県農協青年組織協議会とJAしまね女性部。
今回は2つの組織について根ほり葉ほりご紹介しちゃいます♡

JAしまね女性部はJAを拠りどころとして、「食や農」「くらし」に関心のある女性が集い、女性の地位向上や住みよい地域社会づくりを目指し活動しています。1月には結成70周年を迎えました！現在は11地区本部8,077人の部員が、「JA女性想いをひとつにかなえよう🍀」のもと、部員や地域が「幸せ(ハッピー)」になるような魅力ある活動を展開しています😊

「つながろう🍀」「まもろう🍀」「かかわろう🍀」の3つの具体的な目標を掲げ活動しています！
私たちの活動の一部を紹介しちゃう♡



つながろう🍀



第13回 アグリレディース大学

結成70周年の節目の年を迎えた企画として、記念式典とアグリレディース大学を開催しました。次代へと想いを繋げ、組織の更なる発展に向け取り組むことを確認し、交通安全講話や交通安全落語などの催しを通じて、部員同士の交流をはかりました😊

まもろう🍀



鮎めし、二五八加漬け、筍のほめられ照り焼きなど



70周年記念として開催されたアグリレディース大学では、レシピも再現して詰め合わせた弁当が振る舞われました😊

たべろ！のむ！かざろ！ 産地応援プロジェクト

結成70周年を記念し、島根県の食材で作った各女性部オリジナルのお弁当を紹介するレシピ集を作成しました。各地区本部の女性部が管内の特産品を使ったご飯やおかずのレシピに加え、県内の農畜産マップや女性部活動の歴史も盛り込みました。コロナの影響により需要が減退している島根県産農畜産物のPRと、次世代を担う若い世帯や子どもの食農教育などに活用していきます😊

かかわろう🍀



JAしまね役員との意見交換会

JAしまね役員との意見交換会を開催し、JA運営への女性参画、女性部活動への理解促進に繋がっています。昨年9月に開催した

意見交換会では、JA職員の女性部活動への積極的な参加や、支店職員が減る中、部員と職員のつながりが希薄になりつつあるとし、JAと組合員の結びつきが良い方向に進むような考えや女性部としてできることがないかなど、意見を交わしました。

おもてなしプロジェクト

支店を利用する組合員や利用者などへの「おもてなし」をテーマに、部員と支店職員が一緒になって取り組む「おもてなしプロジェクト」を実施して

います。花壇へ花を植えたり、みどりのカーテンに挑戦したり、『家の光』を活用して作成した作品を展示したり…と、“来店したくなる支店づくり”を目指しJA職員と一緒に取り組んでいます！

米一握り運動

2020年度から、県内の子ども食堂やフードバンク、大学などに米を寄贈する「米一握り運動」を実施しています。コロナの影響により生活が窮状に陥っている大学生や、子ども食堂の必要性が高まっていることを知り、“食”を通じて支援し、みんなの暮らしを守りたい！”という熱い想いから始まりました。今までにJAしまねと島根県農協青年組織協議会の協力のもと、6,925kgの米を寄贈しました。

その他にも…地区本部単位では、料理や手芸、絵手紙など、様々なグループが活発に活動しています😊

島根県農協青年組織協議会

見て魅



島根県農協青年組織協議会
くさのひろし
草野拓志会長

農業のため、地域のため、未来の子どもたちのため…活発活動していることは知っているけど…というそのあなた！

島根県農協青年組織協議会（以下、県青協）は、協同意識を高め、農業をよりどころとした豊かな地域社会を築くことを目的に設立され、県内10地区本部にあるJA青年連盟の県組織にあたります。加入者を「盟友」と呼ぶのをご存知ですか？その名のとおり、同じ信念をもった704人の盟友が、活発に活動しています。

そんな
我々の活動を
紹介します



意見交換会の開催

JAしまねや島根県の役職員と活発に意見を交わし、農業の現場側の想いを伝えています。

JAしまね役員との意見交換会ではこのような意見があがりました。

●島根の農業を持続していくには若い力が必要不可欠。新規就農者に対して今よりも手厚い支援を実行してほしい。

⇒就農にあたっての手厚い支援や資金制度がある。いろいろなやり方がある中で、どのように進めていくかを相談いただきながら、一番合ったやり方でサポートさせていただく。

●以前、盟友の作る産品もしくは加工品を、信用部門の特典として利用いただいた企画があった。いい企画と思っていたが、今後も検討は可能か。

⇒現在JAしまねでは、農業応援を行うべく、コロナにより消費が減少している県産品の消費拡大とJAらしい貯金キャンペーンとして、しまね和牛を景品とした懸賞付きの定期貯金キャンペーンを行っている。次年度も「農業応援」のスタンスを保持したまま、より幅広い農産物の支援に繋げる懸賞内容の見直しを予定しているので、ご意見を参考に検討させていただく。

●生産原価が販売単価に変化しづらいことや需要と供給のバランスが崩れているなど現在の日本の農業に対して危機感を感じている。野菜などの消費量が減ると農家でどうにかできるレベルではない。

⇒食料自給率が低い中、自国で生産することが耕地の維持や地域の活性化にもつながる。そのような生産体制の構築や改善を一丸となって進めていき、消費者の方にも地元産のファンが増えるよう、一緒に頑張ってPRにも取り組んでいく。

●肥料農薬の注文をWebで可能にしてほしい。また、営農情報の発信をアプリで行うなど、常に持ち歩いているスマートフォンから効率よく情報を得られるようにしてほしい。

⇒アプリによる情報発信など、一部地区本部での試行を検討している。ネットやアプリを活用する時代の中、十分考えながら取り組んでいきたいと考えている。



国会議員への要請

地元選出の国会議員の先生方を中心に、現場の「リアルな声」を届け、農家が継続して農業を営むことができるよう、要請を行います。



島根県JA青年大会の開催

農業や組織などについて、盟友が将来に向けての希望や意見などの想いを発表する「JA青年の主張」と「組織活動実績発表」を行っています。組織活動の活性化に向けて一体となって取り組むための起爆剤となるよう、開催しています。令和5年2月21日、22日に開催されたJA全国青年大会では、全国の各ブロック予選を勝ち抜いた12人が出場。「JA青年の主張」で発表した島根おおち青年連盟の寺本直人さんが優秀賞を受賞されました。

JA全国青年大会(千葉県)での発表風景



JAグループ島根 新入職員研修 「ユースカレッジ」での講義

新入職員に向け、青年連盟を通じた地域とのつながりや、JAに求めることなどを伝えています。



島根県立農林大学校 への講師対応

農家として、また経営者としての心構えについて、経験談をもとに生徒の皆さんに伝えています。

農業の活性化や課題解決のための活動はもちろんですが、それだけではなく、各青年連盟では、農業まつりでの出店、小学生や園児に向けた農とのふれあい体験…など、地域住民の輪の広がりや、地域の活性化、食への理解促進につながる活動も展開しています!!



現場の声を
もっとう聞きたい

組合長が行く！



今月の
訪問先

J Aしまね西いわみ地区本部管内

●世良竜一さん ●大場尚俊さん
●有限会社サジキアグリサービス

J Aしまねの石川寿樹組合長ら本店常勤理事は、J A自己改革の一環として、地域の担い手・大型農業法人・集落営農組織等を訪問し、今後のJ A運営に反映させるため各所で組合員の皆さまの貴重なご意見・ご要望を伺っています。



今回は、世良竜一さん、大場尚俊さん、有限会社サジキアグリサービスを石川寿樹組合長ら本店常勤理事が訪問し、現場の「生の声」を伺いました。

世良さんは、

アムスメロンや
アールスメロン
を中心に、トマ
トやキュウリな
ども栽培。J A
しまね西いわみ
メロン部会の副
部長も務めて
おり、島根県産
メロンの主産地

を牽引されています。世良さん

とは、ハウスの老朽化や肥料・燃
料価格の高騰、それに伴う既存
農家に向けたサポート体制など
活発に意見を交わしました。世

良さんは「自然災害や生産資材価格の高騰など、
子ども達に農業をと考えた時にも、今後の農業に対
しても不安が大きい。後継者育成の
ための施策をお願い
したい」と話さ
れました。

同部会の部会長
を務める大場さん
には、益田市にあ
る飯田選果場をご
案内いただきました。
現在の選果機

選果場を見学しながら大場さん(右)と
意見を交わす日高光弘専務(左)ら



選果場を見学しながら大場さん(右)と
意見を交わす日高光弘専務(左)ら



世良さん(前列左)と妻の美子さん(前列右)と
収穫したアールスメロンを手にする
石川組合長(後列中央)ら



甘くてジューシーな
アールスメロン

は、平成23年に設置し、メロンやトマト、
西条柿を選果しています。見学しながら、
12年目を迎え老朽化が進んでいる選果機
の各センサーの修繕費や利用料などにつ
いて活発に意見を交わしました。大場さん
は「糖度センサーなどの設備があること
で、市場からの信頼や産地の維持に繋がっ
ている。部会としても選果機を活用しな
がら有利販売に繋げていきたい」と話さ
れました。

有限会社

サジキアグリ

サービスは、

主食用の水

稲を中心に、

飼料用米や

大豆、ソバを

栽培。米粉を

活用したお菓

子や麺など、

加工品の販売にも力

を入れており、地域

農業の振興のため、

様々なことにチャレ

ンジされています。茅原

貴之代表と茅原忠夫取締役とは、現在の経営

状況や鳥獣被害、取り組んでいるソバ栽培に

ついて活発に意見を交わしました。また、「中

山間地のため、水稲からの転作がなかなかで

きないのが現状。どうしても米主体の経営と

なる」と話し、中山間地で農業を続けていく

ための課題や要望についても話されました。



栽培する赤ソバの前で茅原代表(左から4人目)と
石川組合長(左から3人目)ら



キレイに色づいた
赤ソバの花

★組合長から一言★



最初の訪問先は、世良竜一氏のメロン圃場。採れたてのアールスメロンを試食させていた
いただいたが、極めて美味であった。

次に、飯田選果場に向かい、メロン部会長の大場尚俊氏と面談。選果機の更新について
ご要望をいただいた。

最後の訪問先は、吉賀町の(有)サジキアグリサービス。代表の茅原貴之氏より水稲を
中心とした経営状況を説明いただいた。集落一帯は、圃場が整備され、刈田跡に植えられた赤ソバが見事
であった。

刈田跡
くれなる濃ゆき
蕎麦の花

組合長より一言

topics
1

島根大学と包括的連携協定を締結 更なる農業振興に期待



J Aしまねは2月10日、国立大学法人島根大学との包括的連携に関する協定を締結しました。同日に松江市のJ Aビルで締結式を開き、当J Aの石川寿樹組合長や同大学の服部泰直学長らが出席。今後は同大学のノウハウを取り入れた新作物や新技術の導入、商品づくり、人材育成など、農業振興や地域社会の発展に向け取り組みを進めていきます。

農業技術の可能性拡大や「将来人材」をキーワードとした人材育成の取り組みを進める上で、農業系学部を持つ同大学との連携強化が重要と考えた当J Aが働きかけたことにより実現しました。

協定には①農業振興②共同研究などの推進③教育および人材育成④地域社会への貢献——の4つを盛り込み、農家の高齢化で増える空きハウスを利用したアボカド栽培や、有機農業の振興に関連する実証研究等に取り組めます。また、農業体験やJ Aへのインターンシップ制度を整備し、学生の地域農業への関心を高め、理解促進につなげます。

石川組合長は「有機農業の研究開発をはじめ、さまざまなことに取り組む。協定で強い絆を作り、農業や地域が抱える問題について一緒に考えていきたい」と抱負を語りました。



協定書を手にする
服部学長（左）と石川組合長

topics
2

酪農家を応援！ 島根スサノオマジックのホーム戦で牛乳の消費拡大をPR



J Aしまねは2月11日、Bリーグ所属のプロバスケットボールチーム「島根スサノオマジック」のホームゲームで牛乳・乳製品消費拡大イベントを行いました。先着1,000人に、県内乳業メーカー3社の牛乳・乳製品等をセットにした商品を配布。来場者へ消費拡大に向けPRしました。

未だ続くコロナの影響による牛乳の消費減少に加え、飼料や燃料コストの高騰など、酪農家にとって厳しい状況が続いています。その現状を多くの人に知ってもらい、消費拡大に繋がりたいと当J Aが企画を持ちかけ、実現しました。



牛乳・乳製品セットを配布し
消費拡大をPRする職員ら

当日、松江市の総合体育館で行われたホームゲームには、4,000人を超すブースターが来場。ブースで牛乳・乳製品セットの配布に加え、チラシの配布や動画を流し、酪農の現状への理解促進に繋がりました。



ポスターの掲示や動画を流し、
酪農の現状へ理解を求めた

当J A酪農課の高野洋平職員は「牛乳・乳製品配布時にブースターのみなさんからたくさんの応援メッセージをいただいた。多くの消費者の方から応援いただいていること、感謝されていることを島根の酪農家のみなさんにしっかりと繋がりたい」と話しました。

SDGsとは、国連が決めた「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）」から、一文字ずつ取った略称です。17の目標をマークで示しています。

最終回

令和5年10月1日から開始されるインボイス制度について、しまねびよりでは令和4年4月号から特集記事を掲載してきました。過去の記事をご確認されたい場合は、J Aしまねのホームページよりご確認ください。

広報誌しまねびよりのホームページURL→<https://ja-shimane.jp/kouhoushi/> またはこちらから→



【しまねびより 過去の掲載内容】

掲載月	内容	掲載月	内容
4月号	インボイス制度の概要	10月号	卸売市場特例
5月号	区分記載請求書と適格請求書(インボイス)の違い	11月号	経過措置
6月号	適格請求書発行事業者	12月号	登録申請スケジュール
7月号	インボイス制度導入に伴う農業者の留意点①	1月号	農事組合法人（従事分量配当制）への影響
8月号	インボイス制度導入に伴う農業者の留意点②	2月号	経過措置
9月号	農協特例		

また、国税庁が管理しているホームページでは、「インボイス制度の概要」「Q & A」「申請手続」「YouTube動画」「各種パンフレット」など様々な情報が閲覧できるようになっております。ご不明な点があれば、下記のコールセンターをご活用ください。



【インボイスコールセンター（制度に関する一般的なご質問やご相談の受付）】

「フリーダイヤル：0120-205-553 9:00~17:00（土日祝を除く）」





想いをひとつに✿ しまねの女性部!

石見銀山女性部

令和4年度は、JA女性組織3か年計画「JA女性 想いをひとつに かなえよう」の実践初年度です。

つながろう

まもろう

かがわろう

の3つの具体的目標を掲げ活動します。

つながろう

(仲間と・地域と・他組織と・次代と)

石見銀山女性部は、コロナ禍で活動が制限される中でも、楽しみながらできる活動がないかと役員会等で話し合い、部員が得意なことを活かし、つながりをもって活動できる新たなクラブ活動を昨年5月より開始しました。

【料理クラブ (地元の食材、家の光を活用)】、【手芸クラブ (家の光記事等を活用)】、【園芸クラブ (多肉植物等を活用)】の3つのクラブ活動を月に1回のペースで開催しています。

参加した部員からは、「毎月参加するのが楽しみ!」と言った声も多く聞かれ、好評なクラブ活動となっています。また、フレッシュミズ部会つぼみくらぶも参加でき、世代を超えたつながりができるのも楽しみの一つとなっています。

今後も部員が楽しくできる活動を企画し、新たな部員の加入にもつながるような企画をしていきたいと思えます。



一所懸命青年連盟

島根県農協青年組織協議会

地産地消に取り組み、農業を通して、地域に貢献していきたい

JA YOUTH

副会長 古川 敬さん



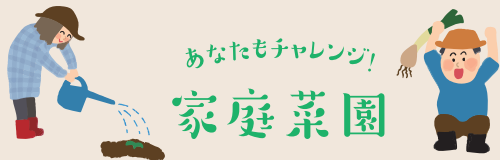
島根県農協青年組織協議会 (以下「島根県青協」) 副会長の古川敬さん (44) は、地元斐川町で就農し24年目になります。

農業に興味を持ち、出雲農林高校で農業科を専攻。卒業後は岡山の農業法人に就職・研修した後、地元へ帰り父親と連盟認定農業者を取得し就農しました。令和2年には法人化し、「株式会社米らいふ(まいらいふ)」を設立しました。

水稻と麦、大豆、サツマイモを生産し、水稻では主に「つや姫」「きぬむすめ」を栽培しています。この他にも無人ヘリコプターの資格を取得し、水稻と麦の受託防除作業も行っています。

農青連には、地元の盟友から誘いを受けて加入。その後、斐川青年連盟の委員長として盟友と一緒に活動に参加し、令和元年からは島根県青協の副会長としても活動に尽力しています。

古川さんは「盟友との繋がりを大事にし、活動していく。各単組の活動や各地域の担い手盟友の一助となれるよう、リアルとオンラインを使いながら盟友の声を基に島根県青協の活動に取り組んでいきたい」と今後の目標を熱く語りました。



家庭菜園

キクイモ

園芸研究家 成松 次郎

※関東東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。

生育旺盛な健康野菜

キクイモは、北米原産のキク科ヒマワリ属の多年生植物です。やや冷涼な気候に適し、生育期間は中間地では4～10月で、10月ごろに開花し、収穫期は茎葉が枯れる11月からで、ショウガに似た塊茎を収穫します。キクイモにはイヌリンという水溶性食物繊維が含まれ、血糖値の上昇を穏やかにし、中性脂肪を下げる効果があるといわれている成分です。

品種

塊茎の表皮が白色と紫色の系統があり、紫種がやや大型です。

畑の準備

植え付け2週間前に1平方m当たり苦土石灰100gを施しよく耕します。1週間前に畝間90cm、深さ20cmの溝を掘り、畝1m当たり化成肥料(NPK各成分10%) 100gと堆肥1kg程度を施し、土を戻してよく混ぜておきます(図1)。

植え付け

種芋(塊茎)は重さ20g程度に切り分け、深さ10cm程度に、株間50～60cm間隔で植え付けます(図2)。

管理

どんな土でもよく育ちますが、過湿を嫌うため、やや乾燥気味に管理します。塊

茎から多くの芽が出るときは、芽かきをして、2、3本に整理します。

支柱立て・摘心

草丈が3mにも伸びて倒れやすくなるので、十分に土寄せをし、1.5m程度の支柱を立て株の周囲にひもを巡らせ倒伏を防ぎます(図3)。さらに、草丈が支柱の高さの頃、茎の先端を摘心します。10月ごろからヒマワリに似た黄色の花が開花します(図4)。日持ちの良い切り花としても観賞できます。

病害虫の防除

強健で病害虫の被害は少ない野菜ですが、生育後半にはうどんこ病が発生することがあります。気になるときは、カリグリーンなど野菜類の登録農薬で防除します。

収穫

茎葉が枯れてきたら、地際から茎葉を刈り取って、塊茎を収穫します。掘り上げた塊茎はしなびやすいため、3月までは土中に置いて必要に応じて収穫しましょう(図5)。収穫後はポリ袋に入れ、冷蔵庫の野菜室で保管します。なお、畑に残した塊茎は野生化してはびこるので、全て掘り上げます。

図3 支柱立て・摘心

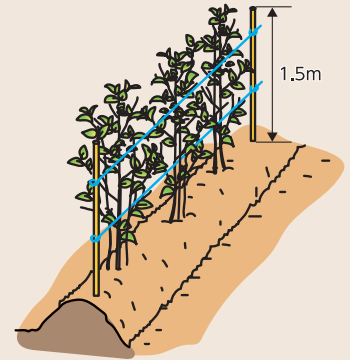


図1 畑の準備

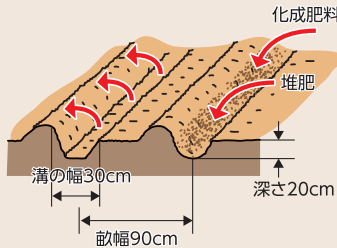


図4 開花



図2 植え付け

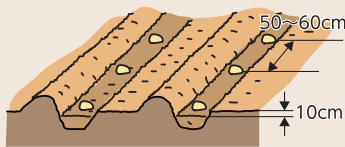


図5 収穫



栽培カレンダー

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
冷涼地				▲	▲	—	—	—	—	—	■	■
中間地	■	■	■	▲	▲	—	—	—	—	—	■	■
暖地	■	■	■	▲	▲	—	—	—	—	—	■	■

▲ 植え付け — 生育 ■ 収穫

【協議事項】

- ① J Aしまね旅行业の廃止について
- ② 信用事業方法書(為替取引)の一部改正について
- ③ お客さま本位の業務運営に関する「取組方針」の全面刷新について
- ④ 令和5年3月1日および令和5年4月1日付け機構改革の実施について
- ⑤ 令和5年度事業計画の策定について
- ⑥ 飼料・肥料高騰対策財源の一部配賦について
- ⑦ ラピタはまやま店 太陽光発電設備の取得について
- ⑧ 不祥事件(共済代理店における無届推進)発生に伴う再発防

止策の策定について

- ⑨ リスク評価書の定例改正について
- ⑩ 組合と理事との取引(契約)の承認について(都度承認分)
- ⑪ 総代定数の見直しについて
- ⑫ 第4期総代選挙の進め方について
- ⑬ 行方不明組合員等の整備へ向けた取り組み再強化について
- ⑭ 常勤理事の他の団体理事等への就任について
- ⑮ 第9回通常総代会の開催日時および場所の設定について
- ⑯ 令和4年度仮決算監事監査報告書 整備改善を要する事項(個別意見)への回答について
- ⑰ 島根県常例検査書(島根おおち地区本部)の回答について

令和4年度くにびき地区本部 「集落座談会」Q&A

令和4年度「集落座談会」を1月下旬から2月下旬にかけ24会場で行い、多くの声を寄せていただきました。座談会で賜りましたご意見・ご要望につきましては十分検討し、今後のJA事業運営に反映させていただきます。今月号では、主なご意見・ご要望とその対応についてお知らせします。

※全ての回答はくにびき地区本部のホームページに3月下旬掲載予定です。

宮農経済関係

Q 1月24日からの大雪により、くにびき管内でどれだけのハウス損壊等の被害が生じたのか分からないが、資材の価格高騰もあり、機材撤去の費用など再建にかかる費用の支援や補助があるのか伺いたい。

生馬



A この度の雪害についてお見舞い申し上げます。2月2日現在16件の被害報告を受けていますが、これから更に増えていくと思われるかもしれません。今回の雪害は、県下では特に松江、安来での被害報告を多く受けています。JAの支援事業について検討しますが、現在の資材価格の高騰により、支援・補助なしでは再建も難しいことから、行政の方へ強く支援要請していきます。(2月末現在被害件数26件)(2月8日付松江市農業復旧対策事業決定)

Q 米価が低迷する中、生産費は高騰しており、このままでは水稲経営の継続は困難である。JAにはこのような大変な状況を受け止めて、米価の引き上げに一層の努力をしてほしいと思う。

A 令和4年産米について、追加金のお支払いができなかったことをお詫び申し上げます。全国的にみても、本県の仮単価は高めに設定しています。くにびき管内では、

約27万袋の米が生産されていると推定され、生産者の皆様には、販売力強化に向け、1袋でも多くJAへの予約出荷をお願いいたします。なお、米の販売は本店に集約し、専門部署で収穫前契約を推進し、早期販売を行い価格安定に取り組んでいきます。

Q JAしまね全体として「みどりの食料システム戦略」(有機農業の拡大、化学肥料・化学農薬の削減)を推進していくのか。

A 有機農業の拡大については、昨年12月26日に楽天農業と島根県、JAしまねが連携協定を結び、主に島根県西部と邑智郡で動き出し、東部地域についてはこれからです。また、1月の理事会において「JAしまねの有機農業取り組み方針」が決定しており、島根県・全農と一体となった、推進体制を構築していきます。

Q 産直生産者はインボイス制度に
関連があるのか。

A 産直の出荷物は、農協特例の対
象ではありません。免税事業者から
の出荷については、JAが仕入税額
控除を行うことができませんので、
JAの消費税納税額が増加し、JA
の費用が増えることになります。ま
た、JAでは消化仕入方式を採用
し、免税事業者の出荷された品物に
税相当分の価格差を設けることとな
ります。当面の間は、経過措置が
あります。1月13、16日にインボイ
スに関する説明会を産直生産者を対
象として開催しました。欠席の方
は、後日、説明会資料を送付しま
す。(2月22日送付済)

Q 産直出荷にかかるインボイス
制度実施後の取引先にかかる影
響について、各生産者が登録事
業者になれば収入減に繋がる可
能性が高い。それでも登録が必
要なのか。

A 登録自体は出荷者ご自身で決め
ていただくしかありませんが、令和
11年9月までの間は経過措置が設け
られており、事務負担も含め、その
間に検討をお願いします。

Q 肥料価格高騰対策事業説明会
に出席できなかったが、来年度
以降も取り組みがあるのか。ま
たどんな肥料が対象となるのか。

A 支援策は国が行っている事業
のため、来年度以降の取り組み
は分かりません。支援金の算定に
用いる肥料費は肥料法に基づく
肥料が対象となります。松江市の
再生協議会かJAの営農企画課
(TEL・5513030)へご
相談をお願いします。

Q 新たな地域特産品目のくにび
き南瓜とくにびきレタスとはど
ういったものか。

A くにびき南瓜は、平成30年か
ら生産販売を実施しており、松江
市の重点推進品目として、生産拡
大に取り組んでいます。出荷期間
(8月中旬まで)と品種(ブラッ
クのジョー)を限定し栽培してい
ます。また、くにびきレタスは、
短期間で栽培が可能であり、後作・
間作・代替品目として令和3年よ
り作付けを開始しています。今年

度は、出荷調整作業の軽減・品質
の均一化を図るため共選出荷に取り
組みました。

Q 毎年イノシシ被害があるがJ
Aでは電柵等の助成はないのか。

A 電柵等の助成については、現在
松江市農林産業経済部基盤整備課
が行っています。(※今年度の申
請は終了しています)

Q 国を含めて盛んに堆肥を使っ
てコスト軽減と言われるが、堆
肥を使用するのは大変な手間が
かかる。ペレット堆肥なら可能
であると考えますが、JAしまね
としてペレット堆肥についてど
う考えているのか。

A ロシアのウクライナ侵攻などで、
肥料の原材料が調達困難になっ
ているため、有機質を使ったペレット
堆肥の開発に、各肥料メーカーが
取り掛かり始めています。現状は、
まだ値段が高いため、コスト削減
にはつながりませんが、安価の商
品が開発されれば皆様に推奨して
いきます。

Q 農機事業県域会社化について
7月には会社化されるようであ
る。会社化されるとJAとは完
全に別の組織になってしまうの
か。

A 農機事業については、県域会社
化後もJAとつながりを持って事
業展開していく予定です。現段階
で、詳しい情報を提示できず申し
訳ありません。本店より情報提供
があり次第、皆様に周知してい
きます。



信用共済関係

Q 葬儀の依頼をしても、他と重なって断られた。折角、おそろから会員になっていても、断られるのは残念に思う。職員やホールを増やして、何とかしてもらえないのか。

A ホールが空いていても、職員が少なく対応できない場合もあります。サービスが低下してはいけません。サードサービスが低下してはいけません。今の人数で可能な範囲で施行させていただきます。現在、職員募集を行っていますので、よろしくお願ひします。(本号、P17に掲載)

Q ATMを2台にして欲しい。待ち時間が長い。

A 農林中央金庫からはさらに数台、削減をする指針がでておりますが、地域インフラも考慮し、地域の実情に見合った効率の良い展開を実施していきます。

Q 毎年カーブミラーの贈呈をされているが、寄贈数を教えて欲しい。JAのPRとしてはいいかもしれないが、設置した後の管理は自治体なのか、交通安全協会なのか教えて欲しい。また、啓発に努めておられるが春、秋の交通安全週間でのJA職員の行動を説明して欲しい。

A 交通事故防止活動にお役に立ち、人命保護と被害の軽減に寄与するため、昭和47年からカーブミラーを寄贈しています。令和4年度は40基寄贈させて頂きました。累計では2,162基寄贈しています。また、カーブミラーの管理につきましては、各道路を管理する道路管理者が行っています。

(国道であれば国土交通省、県道であれば県庁、市町村道であれば市役所・町村役場となります。)

《令和4年度の交通安全貢献活動》

- ・令和4年3月26日 松江市内の中学校へ夜光反射材1,853個および反射タスキ721個を寄贈しました。
- ・秋の全国交通安全運動週間にあわせて、各支店窓口・渉外担当者による交通安全啓発チラシ配布等の交通安全啓発活動を実施しました。
- ・令和4年11月7日、松江市立八雲中学校にてスタントマンによる自転車交通安全教室を実施しました。

企画総務関係

Q 集落座談会は今後どのような形態で行われるのか。

A 今回の集落座談会の開催状況やアンケート調査結果、また地域からの要望を基に、開催方法について検討します。

Q 3月から昼休業について、各集落への周知はどうなっているのか。

A 1月のふれあい訪問日に、全戸に周知文書を配布し、また支店窓口やATMコーナーへポスター等掲示しています。

Q 女性部の活動として、こども食堂等へ米を寄贈されているがどの位の量を寄贈されたのか。

A 女性部を中心に、当地区本部管内では、31袋(5kg入)を寄贈しました。

八雲



七類



第44回 みどりをまもる小学生作文コンクール

「第44回みどりをまもる小学生作文コンクール」(JAしまね女性部主催)で、くにびき管内から下記の1作品が入賞しました。同コンクールは、子どもたちに農業や食料、環境問題に関心を持ってもらおうと県内の小学生を対象に毎年募集。今年は28校から110点の応募がありました。どの作品も、自然や農業への関心、食べ物大切さが、素直な感動とすばらしい観察力で描かれています。金賞を受賞した鍛 星空さんの入賞した作品を誌上で紹介します。

「祖父母の家で、田植えの準備やお手伝いを家族みんなでした。初めて田んぼに入って苗を植える体験をして、そこでできたお米を自分の名前「星空」と「お米」を合わせて「星空米(せいらまい)」と名付けました。家族で作ったお米はとても美味しかったです。好きな科目は体育です。体を動かすことが好きで、週一回地域のファミリーバドミントンをしています。動物が好きなので、将来はペットシッターになりたいです。」



5年生の部
【金賞】

星空米

忌部小学校5年生
鍛 星空さん

『星空舞(ほしぞらまい)』と聞いたことがある方はたくさんおられると思います。この『星空舞』は、二〇一八年に鳥取県が開発した米の新品種のお米です。

私の祖父母は、鳥取県日野郡に住んでいます。ここはとても山奥です。家の周りには、山や畑、田んぼがほとんどです。とても自然豊かで、静かで、水がとてもおいしいところですよ。

そこで、私が紹介したいのは『星空米(せいらまい)』です。家族の中だけでよび合っています。理由は、私がお米作りのお手伝いをして出来るお米だからです。

毎年四月初めに種まきからお手伝いをします。は種機と言う手動の機械で種をまきます。私は、祖母といっしょにハンドルを回して土の苗箱に種を入れていきます。ハンドルの速さは、速くても遅くてもダメです。一定の速さで回して均等に種を落とさなくてはなりません。

次に、消毒液をじょうろでひとつひとついねいにまきます。水がしんとしたあとは、同じ機械で土をかぶせて表面をなめらかにしていきます。水のふくんだ苗箱は重いです。苗が早く育つように、育苗器で三〇〜三二度の中に保管して、発芽するのを待ちます。温度が重要になるそうです。

五月のゴールデンウィークは、田植えです。小さいころは、祖父といっしょに田植機に乗って苗を植えていましたが、今年は父といっしょに田んぼに入り、機械では植

えにくいすみを手植えに初挑戦しました。はだしのまま田んぼに入るのは少し勇気がいりました。グニョグニョした感覚や、まっすぐにいく感覚が少し気持ち悪かったです。前に一歩進むこともなかなか足がぬれなくて重く感じました。

植え終わった苗箱洗いは、私が、一番好きなお手伝いです。一枚ずつ少し残った苗の根っこを取って、苗箱洗じょう機に入れて、上下にジャブジャブ動かします。うでがいたくなるけど楽しいです。田植えが終わったあともなら「どろ落とし」と言って、温泉に行きに行きます。けど今年のはコロナで行くことができません。家で温泉の素を入れて入りました。気持ちよかったです。

しゅうかくまでは、田んぼの水を見たり、いのししが入らないように電さくをしたり、消毒をしたり、草かりをしたりと、稲の成長を見に行くことがあります。祖父と父は、仕事もして、休みの日は田んぼのことをして、すごいと思います。昔は、稲かりのあとは、ハデぼしをしていたそうですが、今はJAさんをお願いしているそうです。

自然豊かで、水がとてもおいしく、家族の愛情がまった、そして私、せいらが手伝いをしてできる「星空米(せいらまい)」が今年もたくさんしゅうかくできると思います。塩おにぎりで食べるのが一番楽しみです。

農業者の所得増大・農業生産の拡大に向けて取り組んでいます。

～くにびき地区本部の取り組み～

美味しまね認証の認知度アップへ 美味しまねフェア説明会を実施

鳥根県GAP生産者協議会松江地域（渡部卓也地域リーダー）は、2月15日、中海干拓研修センターで「美味しまね・GAPフェア in まつえ」の説明会を開催しました。

初めて開催するこのフェアは、3月1日から12日に全県で行う世界の「美味しまねゴールド」フェア（鳥根県主催）に併せて行うもので、国際水準GAP（農業生産工程管理）ガイドラインに準拠すると認められた「美味しまねゴールド」（鳥根県GAP認証）の価値を、生産者だけでなく販売者や消費者が理解・共感し、販売促進・消費行動に繋げるため企画されたものです。

説明会当日は、認証取得生産者や、（株）みしまや、鳥根県ならびにJAなど関係組織から19名が参加しました。また、商品の搬入や陳列などについて意見を交わしました。

（株）みしまやの多々納尚志農産チーフバイヤーは「年数回のフェアをきっかけに美味しまね認証を販売者や消費者にもっと認知してもらい、更なる地産地消に繋がるよう、皆で協力しましょう」と思いを語りました。

フェア開催期間中は、みしまや東川津店内に特設ブースを設け、イチゴやトマト、ジャガイモ、キャベツ、しいたけなどの他、干し柿や紅茶などの加工品も合わせて10種類の商品が販売されました。



東川津店内に設置された特設ブース

良質米の栽培目指す！ 栽培指導研修会実施

くにびき地区本部は2月22日、営農総合センターで「令和5年産水稻栽培講習会」を実施し、26名が参加しました。

同研修会では、本店営農対策部営農指導課の山本朗技監が講師となり、初めに昨年の稲作における高温と乾燥が米栽培に及ぼした影響と、土づくりによる対策について説明しました。

その後、ハナエチゼンに代わる品種として令和6年より作付移行される「つきあかり」の品種特性等を説明しました。つきあかりはコシヒカリと比較し収穫期が早く多品種との作業分散が図れ、味はコシヒカリ並みの良食味で粒が大きくて見栄えが良かったため、卸業者からの引きも強く、全国的にも銘柄米として評価が高いい品種です。

くにびき稲作協議会の宮廻彰夫会長は「栽培ポイントをしっかり抑え、安くて美味しい消費者が求める良質な米づくりと所得向上に繋げていきたい」と意気込みました。



研修会の様子

安心して農業に従事できるよう 「担い手人間ドック」を実施

くにびき地区本部とJA鳥根厚生連は2月7日から10日にかけて、くにびき地区本部営農総合センターで「担い手人間ドック」を実施しました。

毎年、幅広い年代から希望があり、今年は135名が受診。担い手人間ドックでは、従来の胸部X線検査と比較し、より有効な「胸部CT検査」や「体組成・筋肉量測定」、「ヘリコバクター・ピロリ菌抗体検査」など様々な検査を行っています。今年度から利用者の要望に応える形で、「胃カメラ検査」を導入し、JA鳥根厚生連健康管理センターで受診できるようにしました。

利用した担い手農家の方からは、「内容が充実している上に比較的安価で検査を受けることができた」と好評でした。

JA鳥根厚生連健診業務部の鐘築健人さんは「早期発見早期治療が何よりも大切。今後も皆様が健康で安心して農業に従事できるように、くにびき地区本部と連携し取り組んでいきたい」と話しました。



検診を受ける担い手受診者

地域活性化に向けた地域貢献活動に取り組んでいます。

～くにびき地区本部の取り組み～



除幕セレモニーを行った(左から)春日理事長、尾田支店長、越野本部長、中村副本部長

**地区本部に県内で初めて
フードバンクしまねあったか元気便
応援自動販売機設置！**



挨拶する越野本部長

ための自動販売機を県内で初めて設置しました。自動販売機の売り上げの一部は、物価高騰が続く中で、生活困窮により支援を必要とする家庭に食品を届けるための支援金としてフードバンクしまねあったか元気便へ寄附されます。

当日は地区本部玄関横に設置した自動販売機の前に役員など約30名が集まり、除幕式が行われました。初めに越野浩昭本部長が「このような取り組みを通じて地域貢献を一層果たしていきたい」と挨拶しました。セレモニーの最後には、中村隆副本部長が設置後第一号として飲料を購入し、会場を盛り上げていました。



初購入後の中村副本部長

春日邦宣理事長は「フードバンク利用者は近年急激に増えている。この自動販売機を通じて取り組みを多くの方に知っていただき、今後の支援に繋がれば嬉しい」と話しました。

**芍薬寄贈で親交深め
宝塚市から感謝状授与**

くにびき地区本部に1月下旬、宝塚市から芍薬の寄贈に対して感謝状が贈呈されました。



松江市と宝塚市は山陰と関西をつないでいた「特急やくも」が宝塚市に停車した縁で、昭和42年より姉妹都市提携を結んでおり、スポーツ・文化・教育等幅広い分野を通じて交流を深めています。



宝塚市の職員(左)に目録を手渡す中村副本部長

当地区本部でも以前より牡丹等を通じて宝塚市と交流があり、宝塚市の「長谷牡丹園」には牡丹と芍薬を購入いただいている縁で、年に2回の栽培指導を行っています。

昨年11月には現地視察のため、宝塚市職員3名と長谷牡丹園の指定管理者5名が、八束町の「由志園」と「中国牡丹園」を訪れました。当地区本部からは中村隆副本部長ら役員4名と、以前より宝塚市との交流にご尽力をいただいている元JAしまねくにびき地区本部理事の松浦嘉昭氏が出席し、芍薬の苗木100本を目録で贈呈した後、それぞれの施設や圃場を巡回し、管理や栽培の指導研修を行うなど、親交を深めました。

中村副本部長は「市から感謝状をいただけることは、大変名誉なことだと思う。これからも両市の架け橋となれるよう、継続的に取り組んでいきたい」と話しました。

組合員のアクティブメンバーシップ確立に向けて取り組んでいます。

～くにびき地区本部の取り組み～

**女性部「営農加工グループ」
みんなで楽しく味噌づくり**



みそくり機を使ってみそ玉を作る様子

くにびき女性部営農加工グループは2月8日、無添加の味噌を作る「手づくり味噌講座」を、教育文化センターSan・san館で行いました。当日は、3回に分けて実施し、合計57名の部員が参加しました。10月ごろの完成に思いを馳せながら、味噌を仕込みました。

講座は、くにびき女性部の中島和子部長が講師となり、初めに「笑顔で作ると美味しい味噌ができてあがる。楽しく笑顔で作りますよ」と挨拶しました。

部員は大豆と麹(こうじ)をよく混ぜ合わせた後、「みそくり機」を使って細かくつぶし、丸めてみそ玉を作成。丸めたみそ玉を空気が抜けるように、保存用の樽の中に力を込めて投げこみました。最後に、中島部長が「樽じまい」の作業を実践しながら説明しました。

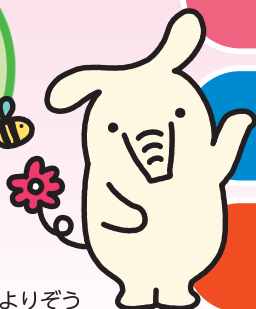
各回、5班に分かれて作業を行い、部員同士協力しながら作業を進めました。講座の終わりに、営農加工グループ森口順子代表は、「3年ぶりに味噌作り講座を開催し、みなさんに会えたことを役員一同嬉しく思っています。10月頃の出来上がりを楽しみにしてください」と挨拶しました。

参加した部員は「色々な人と交流を深めながら、味噌を作ることができて楽しかった。出来上がりが楽しみ」と、期待感を膨らませていました。

JAしまねくにびき地区本部で年金のお受取り・年金受取予約者のみなさまへ

ねんきん感謝デー

令和5年度は
右記の
年金支給日に
開催します！



©よりぞう

4月14日金



6月15日木



10月13日金



- 年金振込専用通帳または年金予約者会員カードをくにびき地区本部の支店窓口までお持ちください
- ご来店いただいた方へささやかですが、プレゼントを差し上げます ※1会員様につき各回1つとさせていただきます

ご利用の皆さまへのお願い

- マスクの着用
ご来店の際は、マスク等の着用にご協力をお願いします。
- 体調チェック
発熱や風邪の症状がある場合は、ご来店をお控えください。
- 消毒
ご来店時は、店舗に設置してある消毒液をご使用ください。
- ソーシャルディスタンス
店舗窓口・ATMご利用の際は、お客様同士の間隔をあけてお待ちくださいますようお願いいたします。

第2回 JAしまねくにびき年金友の会ゴルフコンペ



参加者募集

＼皆様のご参加お待ちしております！

©よりぞう

令和5年5月26日金 開催

島根ゴルフ倶楽部 出雲市美野町1652 ☎0853-67-0016

<申込期間> 令和5年4月3日(月)～4月28日(金)

<申込方法> 「参加申込書」に必要事項をご記入のうえ、お申込みください。

開催概要

参加資格 年金友の会会員（くにびき地区本部で年金をお受取りの方、年金受取予約者の方）

参加費 2,000円 **プレー費** 各自精算（キャディ無し）

募集定員 10組 40名程度
※定員に達しますと募集を締め切らせていただきます。

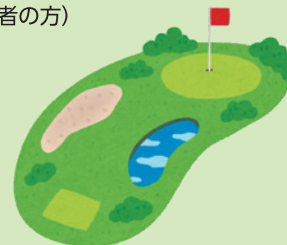
競技方法
①ダブルベリア方式のストロークプレーとします。
②同ネットの場合は、年齢の高い方を上位とします。
③6インチプレス可。その他はローカルルールで行います。
④男性：白ティー

※65歳以上の方はゴールドティー、75歳以上の方はレッドティー、80歳以上の方はピンクティーからの利用も可能です。

女性：レッドティー ※60歳以上の方はピンクティーからの利用も可能です。

表彰式 島根ゴルフ倶楽部（2階レストランホール）

その他 スタート時間及び組合せは後日ご案内いたします。



新型コロナウイルスの感染状況によっては開催を延期します。

事務局

JAしまね くにびき地区本部 くにびき統括支店 金融課（担当：和田・奥村）
〒690-0823 松江市西川津町1635-1 TEL(0852)55-3028 FAX(0852)27-1060

トラクターをお持ちの組合員様へのお知らせです！

作業機を装着したトラクターで公道走行が可能となっています！



道路運送車両法の基準が緩和され、**一定条件を満たした状態に限り**トラクターに作業機（ロータリー・ハロー等、けん引式ではないもの）をつけたままで公道を走行することが可能となっています。

一定条件とは次のようになります。

- ① 車両規格の確認
- ② 免許の確認
- ③ 灯火器の確認
- ④ 安全性の確認

※詳しい内容は農機センター、営農企画課までお問合せください。

◎ 車両規格によって必要な運転免許が変わります！

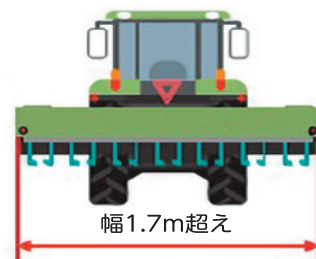


普通自動車免許
(小型特殊免許) で
運転可能

作業機装着後

作業機全体の幅が**1.7m**を超えると、**大型特殊自動車免許**が必要！
※その他、下記の規格を1つでも超えると大型特殊自動車免許が必要です。

- ① 車両の高さ 2.0m
- ② 車両の長さ 4.7m
- ③ 最高速度 15Km/h



大型特殊自動車免許で
運転可能

昨年に引き続き、大型特殊自動車免許（農耕車限定）取得に向けた準備講習会・検定試験を下記の通り開催します。

大型特殊自動車免許（農耕車限定）取得に向けた準備講習会及び検定試験のご案内

- 開催内容及び受講料
 - ① 準備講習会 30,000円/人
JAしまね営農経済本店敷地内特設コース（斐川町直江）にて座学及び試験機を操作する実地練習を行います。
 - ② 検定試験 5,000円程度/人（免許取得費用）
免許センターにて実地試験を受けていただきます。
- 開催予定時期 6月・12月 合計 2回実施予定
- 定員 各回15名まで受付 合計30名受講可能
※1回の最少催行人数は8名とします。申込者が8名に満たない場合、日程調整等をお願いされることがあります。また、申込多数の場合は ①JA農機センターからの購入者 ②JAへの出荷者 ③作付面積の多い方 を優先とします。ご了承ください。

4. 申込期日 令和5年4月7日(金)

※受講を希望される方は、営農企画課又は各支店に用意してある申込用紙にご記入いただき提出いただきますようよろしくお願いいたします。

※受講の可否については申込者全員にご通知させていただきます。（5月上旬頃を予定）

お問い合わせ先 営農企画課 ☎ 55-3030

葬祭担当職員の募集

- 勤務場所/JAしまねくにびき葬祭センター
- 職員区分/正職員（専門職）1名・臨時職員（アシスタント）若干名
- 待遇/当組合規程による

総合職員の募集

- 勤務場所/くにびき地区本部管内
- 職員区分/正職員（総合職）若干名
- 待遇/当組合規程による

ご相談・お問い合わせ先は 人事課 TEL：0852-55-3013

無料税務相談会のご案内

JALまね くにびき地区本部では、顧問税理士による無料税務相談会を開催しております。

税金にかかわることならどんなご相談でも結構です。

お気軽にご相談ください。



- 開催時間は全会場 **10:00~12:00**です。
- 時間帯により混み合うことがございますので、**事前にご予約**をお願いいたします。
- お問合せ・ご予約は、各開催会場までお願いいたします。

無料税務相談会開催日・会場

開催日	曜日	会場店舗	開催日	曜日	会場店舗	開催日	曜日	会場店舗	開催日	曜日	会場店舗
2023/4月			2023/5月			2023/6月			2023/7月		
5日	水	くにびき支店	9日	火	川津支店	2日	金	法吉支店	4日	火	川津支店
			10日	水	乃木支店	6日	火	津田支店	5日	水	東出雲支店
			11日	木	くにびき支店	7日	水	くにびき支店	6日	木	くにびき支店
2023/8月			2023/9月			2023/10月			2023/11月		
2日	水	津田支店	5日	火	川津支店	5日	木	津田支店	7日	火	川津支店
3日	木	くにびき支店	6日	水	乃木支店	6日	金	くにびき支店	8日	水	東出雲支店
			7日	木	くにびき支店				9日	木	くにびき支店
2023/12月			2024/1月			2024/2月			2024/3月		
5日	火	法吉支店	10日	水	川津支店	2日	金	法吉支店	21日	木	川津支店
6日	水	古江支店	11日	木	古江支店	5日	月	乃木支店	22日	金	法吉支店
7日	木	くにびき支店	12日	金	津田支店	6日	火	東出雲支店			

作ってみませんか? くにびき女性部からのおすすすめ料理



イカ大根、ゲソの酢みそあえ

今月の料理人

八東支部 (左から)
松本 治子 さん
安部さち子 さん
安部 美子 さん



今回は、イカの旨味を野菜にしっかりと染み込ませたごはんがすすむ一品です。
イカとダイコンを一緒に煮ることでイカもやわらかく仕上がります。

【イカ大根】(4人分)

- ・イカ……………1杯 (160g)
 - ・ダイコン……………500g
 - ・サトイモ……………4個
 - ・ニンジン……………100g
 - ・こんぶ……………20cm
- <A>
- ・だし汁 (こんぶ戻し汁)……………300cc
 - ・酒……………200cc
 - ・みりん……………50cc
 - ・さとう……………大さじ3
 - ・だししょうゆ……………大さじ2

【作り方】

- ①こんぶを水で戻す。戻し汁300ccをとっておき、戻したこんぶを食べやすい大きさに切る。
- ②イカの内臓、軟骨を取り除き、胴を1cm幅の輪切りにする。
- ③サトイモの皮をむき食べやすい大きさに切り、ボールに入れて水と少量の酢で洗う。
ダイコンの皮をむいて1cmの輪切り、ニンジンは皮をむいて1cmの斜め切りにする。
- ④Aを合わせる。
- ⑤鍋に①～④を全て入れて落しぶたをし、ふたをして汁気が少なくなるまで中火で煮る。

【ポイント】

- ・切ったサトイモを、少量の酢を加えた水の中で洗うことでぬめりが取れます。

【ゲソの酢みそあえ】(4人分)

- ・イカゲソ……………1杯分
 - ・キュウリ……………1本
 - ・もどしワカメ……………40g
 - ・ユズの皮……………適量
- <A>
- ・みそ……………大さじ1
 - ・みりん……………大さじ1
 - ・さとう……………大さじ1
 - ・酢……………大さじ2.5
 - ・ユズの搾り汁……………1個分

【作り方】

- ①イカゲソを茹でて3cmくらいに切る。ユズを搾る。
- ②キュウリは、薄く切って塩少々(分量外)を振り、揉みこみ水気を切る。
- ③ワカメを食べやすい大きさに切る。
- ④Aを鍋に入れて火にかけ、焦がさないように混ぜながら水分をとばす。
- ⑤①～③を器に盛り、④の酢みそをかけて、刻んだユズの皮をのせる。

定年退職者

令和5年2月28日付



門脇 功一



今岡 修



稲田 淳子

永年お世話になりありがとうございました



JAの自動車共済にすると



自動車保険料
(掛金)って
結構高いなあ

少しでも
家計の負担を
軽くしたいなあ

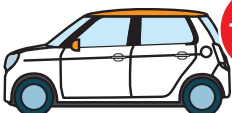


えっ!こんなに
安くなるの!?

このような方は
ぜひ比較してみてください!



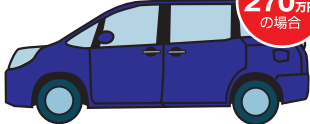
掛金例
**日産
デイズ**
自家用軽乗用車
型式:B43W



車両保障
130万円の場合

車両保障なし	月払 1,790円	一時払 20,070円
車両保障あり 全損害担保	月払 3,490円	一時払 39,100円

掛金例
**トヨタ
ヴォクシー**
自家用普通乗用車
型式:ZRR85W



車両保障
270万円の場合

車両保障なし	月払 1,300円	一時払 14,370円
車両保障あり 全損害担保	月払 3,070円	一時払 34,200円

(保障内容・ご契約例) 個人契約/共済期間:12か月/等級:20等級(事故有係数適用期間0年)/運転者年齢条件:35歳以上限定保障/記名被共済者年齢階層別掛金区分:40~49歳/車両保障:有(車両共済金額別掲)、免責金額5万円/対人賠償:無制限/対物賠償:無制限(対物超過修理費用保障付)、免責金額0円/人身傷害保障:3,000万円(被共済者限定特則:有)/傷害定額給付保障:1,000万円(標準型・被共済者限定特則:有)/弁護士費用保障特約:有/長期優良契約割引:有(適用1年目)/ゴールド免許用掛金/自動継続割引:有/自賠償共済セット割引:有/新車割引:有(初年度登録:令和3年4月)/※各種割引の適用には一定の条件があります。※令和5年1月現在の共済掛金です。

22320320227

問合せ先 JAしまね くにびき統括支店 共済課
TEL0852-55-3023



※この資料は概要を説明したものです。ご検討にあたっては、「重要事項説明書(契約概要)」を必ずご覧ください。また、ご契約の際には「重要事項説明書(注意喚起情報)」および「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。

くにびき地区本部情報

●支店業務の効率化・集約化を進めるため「4ブロック体制」を実施します。今後は、支店の信用・共済事業の運営体制として、松江東（川津・島根・八束・美保関）、松江北（法吉・古江・鹿島）、松江南（津田・東出雲・八雲）、松江西（乃木・宍道・玉湯）の「4ブロック」単位で効率化・集約化に取り組みます。なお、「総代選挙区」は従来の「7選挙区」を維持します。

●融資業務の効率化・集約化を進めるため「ローンセンター」を新設します。今後は、専門部署の新設によって、融資業務の事務堅確性を高めコンプライアンスの強化に取り組みます。なお、各支店ではこれまで通り「融資相談・受付等」について対応します。

地区本部長 越 野 浩 昭

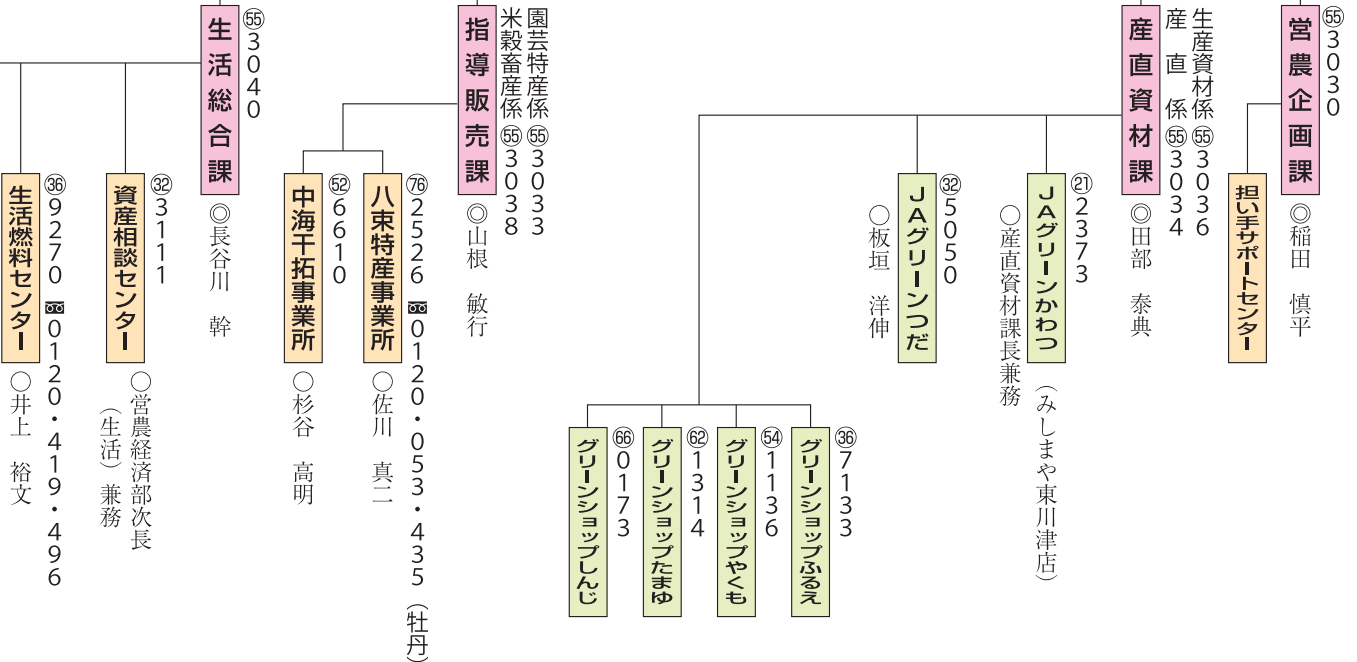
地区副本部長 中 村 隆

◎支店長、課長、（農機センター長、ローンセンター長）
○支店次長、店長、センター長、所長、（ローンセンター次長）

★基幹となる支店

営農経済部

部長 高木 康文
次長（営農） 松尾 勝
次長（生活） 荒木 潤一

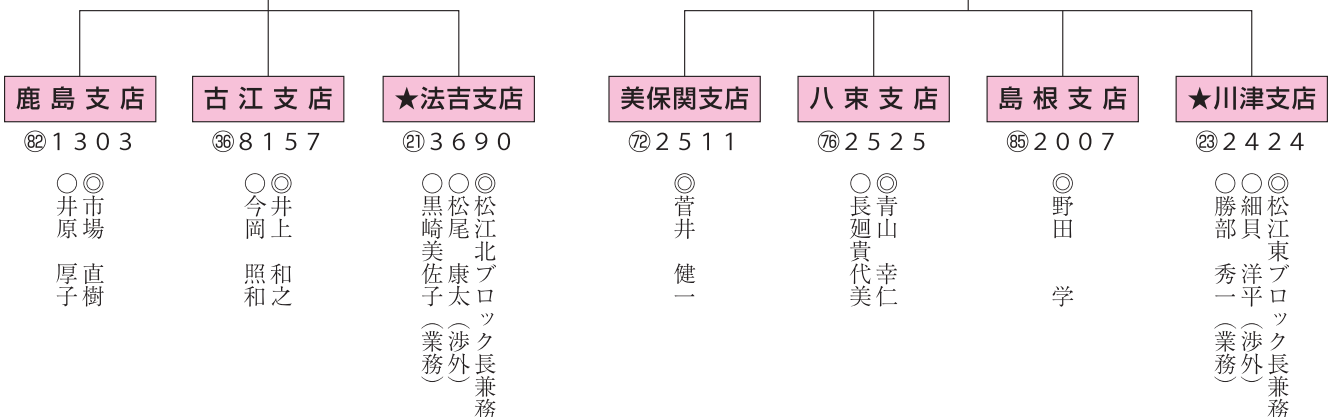


松江北ブロック

ブロック長 坂本充知男

松江東ブロック

ブロック長 古藤 昌希

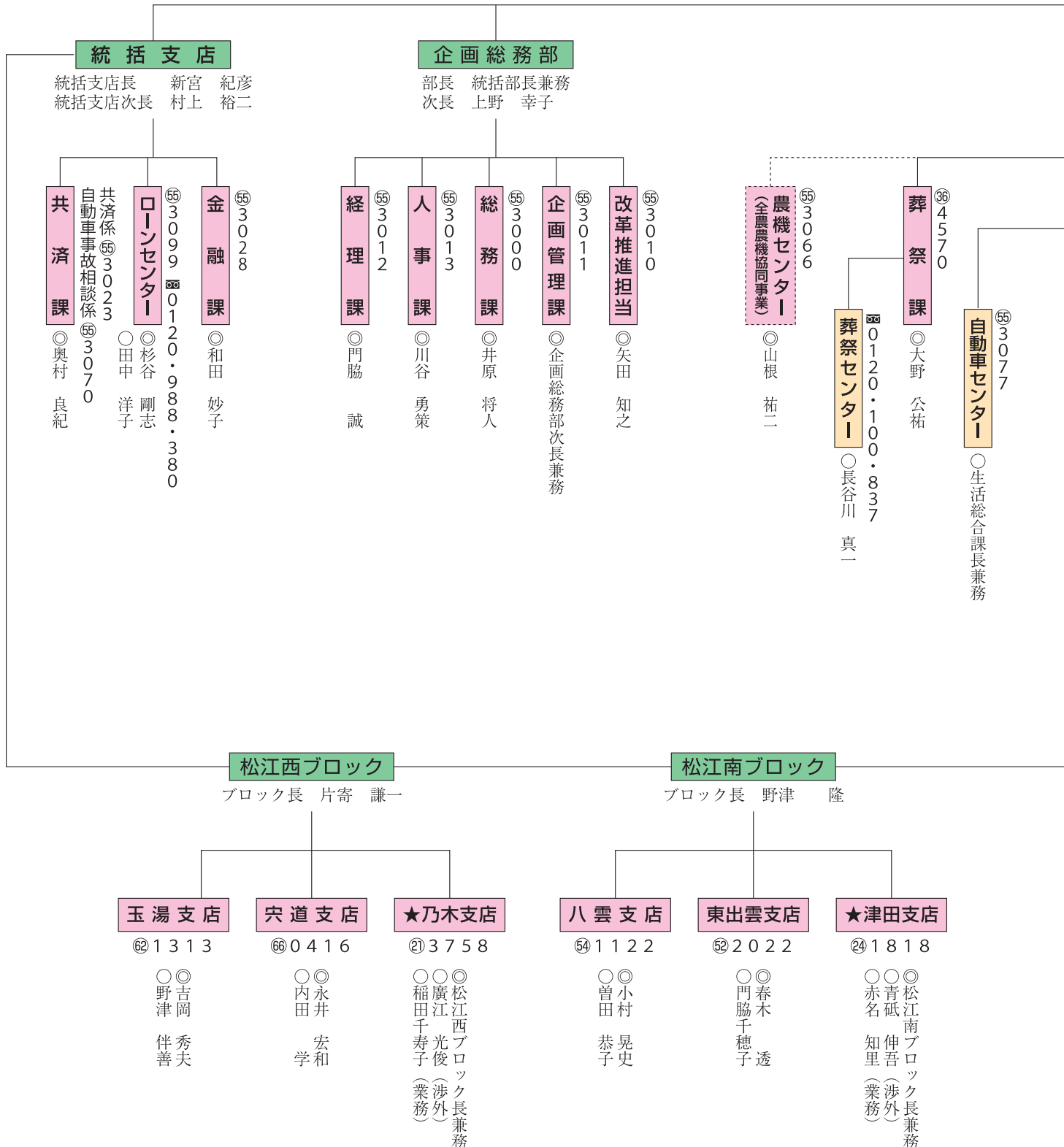


くにびき地区本部 機構図

令和5年3月1日現在

令和5年3月1日付けで、機構改革と定期人事異動を行いました。機構図及び電話番号は次のとおりです。
全役職員配置は4月号に掲載します。

統括部長 三島 剛



くにびき地区本部情報

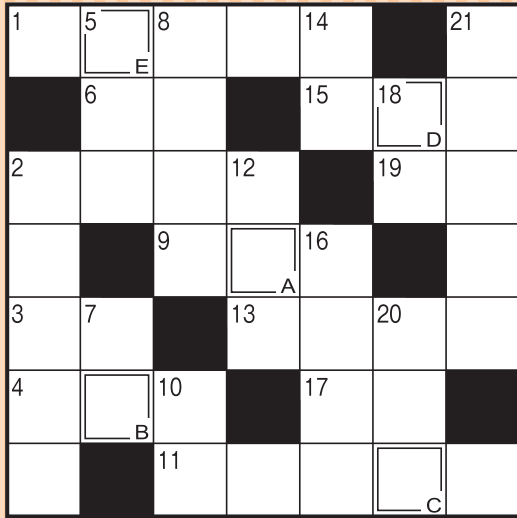


CrossWord Puzzle

クロスワードパズル

二重マスの文字をA～Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？

出題●ニコリ



答え

Answer boxes labeled A, B, C, D, E.

タテのカギ

- ②野球のBSOのS
- ⑤敵ではありません
- ⑦正しい答えに付けるマーク
- ⑧遠くて近きは——の仲
- ⑩シオマネキもこの仲間です
- ⑫得意なもの。漢字で書くと十八番
- ⑭体温計を挟みます
- ⑯空弁（そらべん）が売られている所
- ⑰田畑を耕す道具の1つ
- ⑱ギリシャ文字の最後の字。Ω、ωと書きます
- ⑳選抜高等学校野球大会の会場です

ヨコのカギ

- ①唱歌『花』に歌われている川
- ②写真などを撮影するための施設
- ③ラクダやアルパカに似たアンデス地方の動物
- ④クジラより小さめです
- ⑥4月なのに冷えるなあ、——の戻りかな
- ⑨書類の何も書かれていない部分
- ⑪新1年生の皆さん、ご——おめでとう！
- ⑬爬虫（はちゅう）類は変温動物、哺乳類は——動物
- ⑮1、3、5、7、9……
- ⑰日本人の主食です
- ⑲船を着けます



応募要項



●応募方法

ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。

●賞品

正解者の中から抽選で40名（JAしまね全体）の方に「農協全国商品券」をお贈りします。

●当選者発表

賞品の発送をもってかえさせていただきます。

●宛先・締切

〒690-0823 松江市西川津町1635-1
JAしまね くにびき地区本部 総務課 「クイズ」係
2023年4月7日（金）（当日消印有効）

◆先月号の答え◆

「イチゴガリ」



俳句の広場

選句者「白魚火」編集長・副主宰
安食彰彦先生

最優秀賞

万歩計付けて斐伊土手草青む

出雲市 小豆澤典子様

（評）待ち焦れた春の訪れを感じ若草が色を濃くして鮮やかに歩てくる。万歩計を付けて明るい気持になり斐伊の土手を楽しく歩かれたでしょう。

優秀賞

星冴ゆる空へと叫びたき人生

兵庫県 小田 慶喜様

庭先に野兎の跡雪の朝

大田市 大国千登世様

元朝や百十二段の八幡宮

安来市 斎藤美重子様

佳作

毛筆も洗ひて御用納かな
艶やかなみどりに光る露の玉
新雪に足跡人でないものも
時間かけバレンタインの品定め
白鳥の連なり飛べる空青し

浜田市 三浦 方美様
出雲市 石田 博子様
浜田市 三沢 孝子様
浜田市 小川美砂子様
益田市 伊藤世以子様

「家の光」でも俳句・川柳・詩・短歌を毎月募集しています。こちらへもぜひご応募ください！

「家の光」4月号 定価922円
ご購入はお近くのJAへお問合せください。



JAしまねびより、皆様からの俳句・川柳を募集しています。締切は毎月14日必着です。（最優秀賞1句、優秀賞3句、佳作5句）4月号は川柳を募集します。1回のご応募につきお一人様3句までご応募いただけます。

応募方法

俳句または川柳、住所、氏名、年齢、電話番号を記入のうえ、ハガキ、FAX、Eメールのいずれかでご応募ください。
※応募作品は自作で未発表のものに限ります。
※応募作品の一切の権利は、JAしまねに帰属するものとします。
※受賞作品は地域名、氏名（または雅号）を掲載します。

あて先

〒690-0887 松江市殿町19-1
JAしまね ふれあい福祉課
「俳句の広場係」または「川柳の広場係」
FAX：0852-67-7708
Eメール：fureai.hon@ja-shimane.gr.jp



最優秀賞、優秀賞の4名様には「農協全国商品券1,000円分」をお贈りします。

・お預かりした個人情報、プレゼントの抽選・発送のみに使用し、その他の目的で利用することはありません。

クミアイ家庭薬

十種の植物成分※
医薬部外品
富山薬湯
とやまやくとう

効能
肩のこり
疲労回復
痔
神経痛
腰痛
うちみ
冷え性
しっしん
リウマチ

液体タイプだから実現した
生薬エキス原液配合
薬用液体入浴剤

有効成分が温浴効果を高めて
諸症状緩和に効く薬用入浴液

有効成分 400mL (20粒分)
高級小売価格(税込) 3,980円 (税別 3,618円)

薬名 G 薬用入浴剤 d-AC
MADE IN JAPAN
飲み物ではあつません。Die Not 命懸け

温浴効果による痛みの緩和に効く*
うるおうを与える

有効成分	保湿成分
ショウブ抽出液 カクレミノ葉エキス	シャクヤクエキス エイジツエキス クワエキス トウキエキス
シカクム	ショウキョウエキス クララエキス センキュウエキス 針葉樹バール

*有効成分が温浴効果を高めることにより

JAグループ 協同薬品工業(株)島根営業所 ☎0853-25-9166

組合員・ご利用者の皆様へ

4月以降のJAにおける旅行事業の取り扱いについて

このたび、JAしまねでは令和5年3月末をもってJA旅行センターを廃止し、4月1日以降は旅行事業をすべて(株)農協観光に委ねることいたしました。

コロナ禍で事業環境が厳しい状況のなか、諸情勢を考慮し、(株)農協観光と協議して決定した次第です。

皆様には長きにわたりご愛顧賜り、誠にありがとうございました。

今後、旅行に関するご相談、お問い合わせ等のご連絡は下記の(株)農協観光山陰支店までお願い申し上げます。

何卒ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

観光庁長官登録旅行業第939号
株式会社 農協観光 山陰支店
〒690-0065
島根県松江市灘町1-7 松江プラザビル8階
Tel 0852-26-2600
fax 0852-26-2603
営業時間 9:00~17:00
休日 土・日祝日 年末年始

島根をもっと元気にしたい
~一緒にJAで働きませんか~

JALしまねは「農業振興」「地域振興」「地域貢献」を積極的に展開し、組合員はもとより県民そして次世代を担う若者・子どもたちとともに、大地の恵みと食文化の尊さを継承していきます。

「人と自然が共生する、光り輝く未来の創造」

- ◎地域の資源を生かし、希望と活力に満ちた農業を実現します
- ◎地域の文化を守り、心豊かに安心して暮らせる地域社会を創造します
- ◎水と緑と人を育み、豊かな大地と食を次世代に引き継ぎます

「信頼、満足、熱意、みんな一番」

『し』…組合員・利用者からの信頼、一番をめざします
『ま』…組合員・利用者の満足、一番をめざします
『ね』…仕事への熱意、一番をめざします

JA 自己改革 実践中
JAグループ島根

JAしまね 令和6年4月 採用職員募集のご案内

- 募集職種 正職員(総合職)
- 募集区分 本店採用(転居を伴う配置の可能性があります) 地区本部採用(原則転居を伴う配置はありません)
- 応募資格 ①令和6年3月大学院・大学・短大・高専・専修学校卒業見込の方 ②大学院・大学・短大・高専・専修学校を卒業して3年以内の方
- 受付期間 令和5年3月15日(水)~4月28日(金)
- 選考方法 WEB上での筆記試験・適性検査・面接試験
- 応募方法 マイナビ2024よりエントリーのうえ、ご応募ください。

*採用情報など詳しくはJALしまねHPまたは下記までお問い合わせください。

お問い合わせ
〒690-0887 島根県松江市殿町19-1
JALしまね人事部 人事部 人事部
担当: 細木・加藤
TEL: 0852-67-7711
FAX: 0852-67-7714
ホームページ: https://ja-shimane.jp
E-mail: jinji_saiyou@ja-shimane.gr.jp

マイナビ2024
マイナビでエントリー受付中

私服勤務の実施について
組合員・利用者のみならず、JAしまねでは、SDGs取組みの一環として、ジェンダー平等に取組み、職員ひとりひとりが働きやすい服装で、仕事の効率アップ、働きやすい職場環境の整備をめざし、私服勤務を実施することいたしました。組合員・利用者のみならずにおかれましては、取組みにご理解いただけますようお願いいたします。

実施日: 令和5年4月1日~
実施店舗: JALしまね全ての事業所。ただし、部署にて固有の制服等がある部署(典礼・小売店舗等)は除きます。

本誌は地球環境に優しい植物性オイルを使用しております。



JAしまね
公式ホームページ

JAしまね

検索



* 山菜カルパッチョ



コメント

- ・うるいはあく抜き不要の山菜で、生食もOK！シャキッとした歯ごたえが春を感じさせてくれます。
- ・旬の野菜を彩りよく盛り付けるだけで、食卓が一気に華やぐ元気モリモリの一品！

材料 (4人分)

- うるい…………… 1パック
- こごみ…………… 1パック
- タラの芽…………… 4～5本
- パプリカ (赤・黄) …… 適量
- ブラックオリーブスライス… 12g
- 生ハム…………… 40g
- モッツアレラチーズ…………… 8個
- A オリーブ油…大さじ2～3
- レモンの絞り汁… 小さじ1/2
- 塩…………… 小さじ1/2
- 粗挽き黒胡椒…………… 適量

作り方

- ①うるいは3～4cmの長さに切る。
- ②こごみとタラの芽は塩ゆでし、水に取って冷ましたら3cmの長さに切る。
- ③パプリカは種を除き、薄くスライスする。
- ④生ハムとチーズは半分に切る。
- ⑤大皿の上に準備した材料を彩りよく盛り付ける。
- ⑥食べる直前にAを振りかけたら完成。

アレンジ

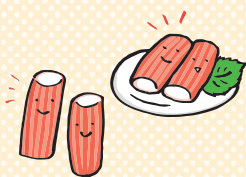
- ・調味料を早めに混ぜて、野菜をしんなりさせるとマリネ風にもなります。
- ・生ハムはカニカマやスモークサーモン、ハムの薄切りに、モッツアレラチーズはプロセスチーズに替えてもOK！
- ・旬の野菜をいろいろ組み合わせて、お好みの市販ドレッシングでも召し上がれ！
- ・生のまま浅漬け風にしてもおいしいです。

材料 (4人分)

- うるい…………… 1パック～
- 春雨…………… 30g
- アボカド…………… 1個
- カニカマ…………… 30g
- 塩昆布…………… 5g
- マヨネーズ…………… 大さじ2
- 白だし…………… 小さじ1/2

作り方

- ①鍋にお湯を沸かし、うるいの根元から先に入れ、サッと茹で水に取り、2～3cmの長さに切って、水気を絞る。
- ②春雨は熱湯に3分間浸して水に取り、水気をきって食べやすい長さに切る。
- ③アボカド (皮と種を取り除く) とカニカマは、1cm角に切る。
- ④準備した材料を全部ボウルに入れて、混ぜ合わせたら完成。



コメント

- ・うるいは加熱したり、もんだりすると、ぬめりも楽しめます。
- ・火が通りやすい食材です。風味が損なわれないよう、サッと加熱をお勧めします。

アレンジ

- ・サッとゆでたうるいを醤油・酢味噌・ごま等で和えても美味しく食べられます。
- ・味噌汁やスープ、パスタ、炒め物、天ぷらの具材としても使えます！

* うるいと春雨のアボカドマヨネーズ



JA島根厚生連

健康散歩

脂肪肝と言われたことはありませんか

「脂肪肝」と言われたことはありませんか。脂肪肝は、お酒の飲み過ぎで起こるものと思われられる方も多いですが、お酒だけが原因となるわけではありません。お酒をたくさん飲むわけでもないのに脂肪肝を指摘される人も増えています。

脂肪肝には、お酒の飲み過ぎで起こる「アルコール性の脂肪肝」と、お酒をあまり飲んでもないのに起こる「非アルコール性の脂肪肝」があります。非アルコール性の脂肪肝の場合、食べ過ぎによるエネルギーの過剰摂取と、運動不足などによる消費エネルギーの減少が原因で、体内にエネルギー (中性脂肪) が余り、肝臓に蓄えられることによって起こります。アルコール性の脂肪肝だけでなく、非アルコール性の脂肪肝でも一部肝硬変に進行したり肝臓がんを発症したりするものもあります。ほとん



ど症状もなく進行するため、放置するのは危険です。

脂肪肝は、血液検査 (肝機能検査) や腹部超音波検査を行うことで見つけることができます。治療には薬物療法もありますが、まずは生活習慣の改善が最も重要です。アルコール性の脂肪肝では飲酒を控えることが改善につながります。対して非アルコール性の脂肪肝は、食事によるエネルギー摂取量を抑え、運動で消費エネルギーを増やし、体重を減らしていくことで改善するとされています。

肝臓に蓄積した脂肪は減りやすく、生活習慣の改善ができれば効果が出やすいと言われています。何事も無理をすると継続しにくいので、自分の生活に合った無理のない方法で生活習慣を改善していきましょう。



【編集後記】 いつの間にか日が長くなりました。梅の花など、春が近づいているなあと感じていますが、皆さん春は好きですか？春と言えば出会いと別れの季節ですね。広報誌の担当となり約2年が経ちましたが、この3月号が私にとってラストの作成となりました！毎月締切に追われる2年間は怒濤の日々でしたが…楽しく作成をさせていただきました！皆さんありがとうございました♡2023年度の「しまねびより」もぜひご期待ください！(安)